

2023年JABA新型コロナウイルス対応ガイドライン（オープン戦用）

公益財団法人日本野球連盟

2023年2月15日

同年3月13日改定

【はじめに】

2023年のシーズンを迎えるにあたり、2月15日付で「2023年JABA新型コロナウイルス対応ガイドライン（オープン戦用）」を策定しましたが、3月13日からの政府の対処方針の改定を受け、内容を大幅に改定いたしました。

本ガイドラインの内容は、今後も政府の対処方針の改定等を踏まえ、適宜見直しを行います。

共通感染予防対策

すべての関係者と観客を対象とする。

（1）マスクの着用について

原則として個人の判断に委ねる。

（2）手指衛生の励行

手洗い、消毒用アルコール剤による手指衛生を徹底する。球場に入る際には、入り口でアルコール消毒液による消毒を行う。

（3）出来るだけ人込みを避ける

3つの密（密閉空間、密集場所、密接場面）を避ける。移動時に公共交通機関を利用する場合は、混み合う時間帯をできるだけ避けるように注意する。

（4）こまめな換気を行う

（5）入場制限

球場に入る際に検温し、37.5℃以上あった場合は球場への入場を認めない。（健康チェック表の提出は不要）

1. チーム関係者の感染予防策

監督、コーチは、新型コロナウイルス感染防止対策を常に念頭に置きながら選手を指導することとする。

（1）毎日の健康チェックと行動記録の記入

- ① 健康チェック：咳、咽頭痛、倦怠感、食欲低下の有無。

※体調不良が見られた場合は勇気を持って休む。

- ② 行動記録：食事や出向いた場所、同行者を、症状発生時に「**行動動記録表**」【別紙①】に記載できるよう準備しておく。（医療機関等から提出指示がある場合に備える）

(2) 移動について

宿泊施設～球場間のバス等での移動については、利用ごとの車内の消毒、移動時の車内換気を徹底する（必ず窓を開けて行う）

(3) 自宅（合宿所）・宿泊施設について

- ① 起床直後に検温を行い、37.5℃以上の場合は外出を控える。
- ② 宿舍では、1人部屋（もしくはシングルユース）かつ同じフロアに宿泊することが望ましい。
- ③ 食事は、隣同士との距離を空け、飲食中は会話を控える。
- ④ 不要な外出は控える。

2. 審判員の感染予防策

- (1) 球審については、飛沫防止の観点から、マスクを着用、またはマスクシールドを装着する。熱中症には十分留意して、こまめな水分補給を行う。
- (2) 塁審については、マスクの着用は必須としない。

3. 報道関係者の感染予防策

取材にあたっては、選手たちと十分な距離を保つ。

4. 球場の感染予防策

基本的には、会社、施設側のガイドラインに沿った形で対応する。

- (1) 本部席、審判控室、記録室、放送室等は、使用する者が定期的に換気する。
- (2) 各諸室、トイレなどには、アルコール消毒液を配置し、消毒や手洗いを徹底する。
- (3) 球場内での食事についても、距離を空けて対面にならないように座る。

5. 感染者及び体調不良者（発熱等）が発生した場合について

- (1) 医療機関等の指示に従う。
- (2) 「**感染者等の発生に関する報告書**」【別紙②】に基づき、速やかに都道府県連盟（または協会）及び日本野球連盟に報告する。

6. 他団体との交流試合について

NPB、独立リーグ及び大学との交流試合については、それぞれのガイドラインを照らし合わせ、協議の上決定する。

7. その他

本ガイドラインに記載のない対応については、当該チーム間で協議の上、判断する。

※参考文献

- 1 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和3年11月19日（令和5年1月27日変更）新型コロナウイルス感染症対策本部決定）
- 2 スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日（令和4年12月26日改定）・公益財団法人日本スポーツ協会）
- 3 スポーツ活動再開時の新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防について（令和3年3月19日更新・日本スポーツ協会）
- 4 新型コロナウイルス感染症患者に対する積極的疫学調査実施要領（令和3年11月29日版・国立感染症研究所 感染症疫学センター）
- 5 日本野球機構（NPB）新型コロナウイルス感染予防対応マニュアル（令和5年2月21日）
- 6 基本的対処方針に基づくイベントの開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について（令和5年1月27日内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長事務連絡）
- 7 マスク着用の考え方の見直し等について（令和5年2月10日新型コロナウイルス感染症対策本部）
- 8 第95回記念選抜高等学校野球大会 新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和5年2月22日）
- 9 Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン（令和5年3月2日）

公益財団法人日本野球連盟 御中

新型コロナウイルス感染症

感染者等の発生に関する報告書（報告書 NO. ）

提出日：2023年 月 日

加盟チーム名	代表者名（役職）	
	連絡担当者名（役職）	
	携帯電話番号	
感染等の状態	<input type="checkbox"/> 感染者	名（内訳：スタッフ 名、選手 名）
	<input type="checkbox"/> 感染の疑い	名（内訳：スタッフ 名、選手 名）
試合出場可能な選手数 （感染者、感染の疑いがある者を除いた選手数）		名
チームとしての活動歴・本人の症状・チームの対応等 （判明した日より3日前から該当者が参加したチーム活動を含めて日付ごとに時系列で記載する）		
NO	日付	内容
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※ 感染者等（感染者、感染の疑い）が判明した時点で最初の報告書を提出する。以後、追加や変更事項がある場合、都度提出することとし、該当者の隔離や自宅待機が完了するまで継続する。

※ 追記した個所は、赤字で表記する。

※ 関連のある事象は、「報告書NO」で順番を付ける。

NO	日付	内容
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		